

8.3 第2期生夏季集中サイエンスキャンプ報告会

8月3日、夏季集中サイエンスキャンプのオンライン報告会を行いました。

R4年度から取り組まれている、東京大学大気海洋研究所、与論高等学校、与論町海洋教育推進協議会の合同企画である夏季集中サイエンスキャンプ。今年度の新2年生から6名を2期生に迎えました。また新たに岩手県立大槌高校も加わり、環境の異なる地域の高校生との交流を深めつつ、3日間取り組みました。

今年度は台風の影響を受け、6名中4名が東京大学柏キャンパスへ訪問。8月1日から8月3日の3日間、与論島に残った生徒2名とオンラインで繋ぎ、現地での測定や科学分析結果を共有しつつ、考察を繰り返しました。

報告会も形を変え、事前に視聴希望者を募り、各自それぞれの端末からオンライン報告会へ入室した結果、約50名の方が報告会を見守りました。

オンライン報告会では、水道水チームと海チームの2班に分かれ、それぞれの考察をスライドを用い発表。水道水チームに関しては、与論高校と柏キャンパスと異なる場所からの発表という難しい状況の中、与論島の水道水が身体に与える影響についてなど、興味深いテーマに挑みました。海チームに関しては、第1期生の考察を取り入れ、自身の考察を深めた発表となり、今後のサイエンスキャンプの継続と発展へ期待を覚えるような内容でした。

生徒たちは第1期生と同様に、さらに仮説と考察を繰り返し、それぞれの発表の精度を高め、1月末に行われるヨロン海洋教育フェアや島外への発表に挑戦していきます。

10月末時点島外での登壇予定：

11月4日（土）9：00 ～ 11：20

亜熱帯・KUROSHIO 研究教育拠点の形成と展開事業 シンポジウム

奄美群島における総合知の探究 ～環境、文化、教育の融合～

オンラインでの参加申込：<https://forms.gle/EgiNdmmUBvG3Pn679>

